

さなめ寿劇場

其之九

さなめ寿劇場は、かつて米子市淀江町内にあった芝居小屋「戎座」や隠岐の島から譲り受けた「寿座（のちに寿劇場）」を懐かしみながら様々な芸能を楽しんでいただく企画です。笑う門には福きたる！新年の初笑いは「さなめ寿劇場」にお出かけください！

令和8年

1/11 (日)

開場

13:30～

開演

14:00～15:30

落語
桂文吾

落語
錦亭だい吾

琴アンサンブル安田会
安田 彰

シャンソン 柳井 沙羅

会場

米子市淀江文化センター
大ホール（さなめホール）

入場料

●大人 1,000円

●小学生～高校生 500円

※未就学児無料

プレイガイド

米子市淀江文化センター、米子市公会堂、
米子市文化ホール、米子市児童文化センター

主催・お問い合わせ先

さなめ寿劇場実行委員会

一般財団法人 米子市文化財団 [米子市淀江文化センター]

☎ 0859-39-4050

<開館時間> 9:00～22:00

<休館日> 毎週水曜日 ※祝日の場合は翌日、年末年始 12/29～1/3

共催 米子市



さなめ喜劇場 其之九

令和8年1月11日(日)
・米子市淀江文化センター 大ホール

プログラム・出演者紹介

※ プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



い

琴アンサンブル安田会 安田 章

8歳から地元の琴教室に通い、10歳で初舞台を踏む。
高校生の時に兄弟ユニット 琴アンサンブル二人の会を結成し、米子市音楽祭に初出演。その後、米子市音楽祭をはじめ、さなめラララ♪すてーじ、地域のイベントなどで活動している。

普段は学生とのアンサンブルで活動していますが、今回はソロで演奏します。
新しい年を迎えた晴れやかな雰囲気を琴の音色でお届けします。
皆さん一緒に楽しみましょう。



ろ

シャンソン 柳井 沙羅

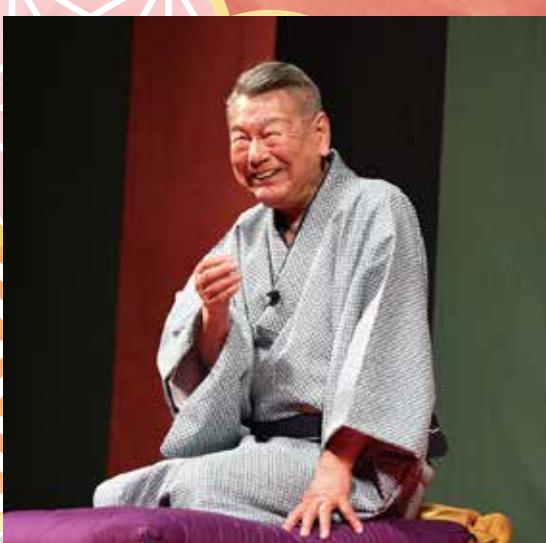
鳥取県出身。大阪芸術大学放送学科中退。
在学中よりミュージカル劇団でシャンソンに出会う。
その後シャンソンオーディションの合格を機に歌の道に入り、ライブ活動を重ねる。
現在、イベント、パーティー、チャリティーショー、音楽劇の出演など、多彩な活動を続けている。
おもろいシャンソン歌手。



は

落語 桂文吾門下生 錦亭 だい吾

小学生の頃に米子市児童文化センター落語クラブに参加し、クラブ生として講師の桂文吾さんの指導を受け、落語の世界に入る。
クラブ生当時は「わらべ家だい吾」の名で米子市児童文化センタークラブ発表会や地域の様々な催しに出演。
その後も師匠の桂文吾さんのもとで稽古に励み、令和6年8月18日に開催された全国子ども落語大会「第3回高校生落語甲子園」に出演。「鈴ヶ森」の演目で第3位(豊岡市長賞)入賞。現在、大学1年生。



に

落語 6代目 桂 文吾

京都市出身、米子市在住。上方落語。
昭和27年、15才で5代目桂文吾の弟子になり、6代目桂小文吾を名乗る。
大師匠にあたる4代目桂文吾は、落語の名作「らくだ」を完成させた噺家。
宝塚若手落語会、三越新人落語会などに出演、少年落語家として活動。
昭和32年、20才の時に落語界を離れて宝塚新芸座の座員になり、役者として舞台、テレビ、映画に出演。その後、自分の芸道に行き詰まり劇団を退団、芸能界を引退。
昭和40年、28歳の時に縁あって山陰に移住し、ある会社に勤務。63歳で退社。その後、平成13年頃より、上方落語の噺家と交流を図り、山陰の噺家として復帰する。
米子市児童文化センター落語クラブ講師。
NHK鳥取「桂小文吾の出前落語」平成14年から16年まで、18本収録。
中海テレビ「桂小文吾の落語会」平成19年から23年まで、30本収録。
倉吉豊田亭にて落語寄席に出演。夜見町迎接院ワンコイン落語寄席を開催。
桂文吾の事を書いた本『噺家根問・雷門小福と桂小文吾』発売中。
シニア劇団「笑劇座」座長。令和4年6月に、6代目桂文吾を襲名。